



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2024

6

No.819



災害に備えて！
鴻南方面隊一日訓練



天候に恵まれ盛大に開催！
第2回軽井沢マルシェ



ツバメが子育てを一生懸命しています
木崎町内の長屋の中でのシーン

CONTENTS

【トピックス●】
総会・代議員会を合同で
開催しました…… 2
インフォメーション…… 5

【トピックス●】
「進化していく軽井沢通り」…… 6
レポート…… 6
みんなで防災…… 7

リレーエッセイ…… 7
イベントカレンダー…… 8
かけはし…… 8

よしき人



YOSHIKI
DATA

【人口】 14,632 (前月比 +85) 【世帯数】 6,466 (前月比 +72) 令和6年5月1日現在



総会・代議員会を合同で

開催しました

5月8日(水)、地域づくり協議会総会、自治会、地区社会福祉協議会代議員会を合同で開催し、令和6年度の事業計画や予算などが可決されました。会議資料は、地域づくり協議会ウェブサイトに掲載し、事務局に閲覧用を備え付けています。

吉敷まちづくり計画の スローガンと活動目標

令和5年度から9年度までの5か年の「第2次吉敷まちづくり計画」において、スローガンを若い世代における積極的な地域活動への参加が必要であることから、「若い世代とともに築く笑顔あふれるふれあいのまち吉敷」と設定し、また、活動目標を「地域振興」「地域福祉」「安心・安全」「環境づくり」「地域個性創出」の5つの目標を設定しています。

3団体が一体となって進める

吉敷の地域づくりをすすめていく

吉敷地域では、市が推進する「協働によるまちづくり」として、地域課題の解決に取り組むため「地域づくり協議会」を設置しています。自治会と地区社協から地域づくり協議会へ財源を集め、3団体が一体となった地域づくりを努めています。

3団体は、このことを強みに、様々な活動を展開しています。

令和6年度 吉敷自治会予算

〈収入の部〉		(単位:円)	
項目	予算額	内 訳	
会費	2,880,000	会費600円×4,800戸	
助成金	道路維持活動	841,940	市道除草業務委託
	特林自治会活動補助金	100,000	市特林特別会計吉敷特別林野費
	その他	110,000	緑化募金奨励金
諸収入	返戻金	761,506	前年度地域づくり協議会自主財源精算
	雑収入	689	利息ほか
繰越金、積立金	2,130,865	コミタク運行資金積立金300,000円ほか	
合計	6,825,000		

「吉敷自治会」
吉敷自治会は、16の町内会・自治会で構成され、会費として一世帯600円を集め、様々な活動に取り組んでいます。地域住民どうしで助け合って住みよい地域を築いていくために、活動している組織です。

〈支出の部〉		(単位:円)	
項目	予算額	内 訳	
事業費	自治会活動費	625,000	町内会長会、子ども会活動支援ほか
	地域づくり活動費	480,000	地域づくり協議会へ
	広報活動費	185,000	広報委員会へ(自治会負担分)
	消防費	1,305,000	市消防団吉敷分団後援
	地域防災費	50,000	地区防災会活動費
	道路維持活動費	841,940	市道除草業務委託事業
負担金	1,536,000	地域づくり協議会へ(事務費・人件費)	
繰出金	300,000	コミタク運行資金積立金へ	
事務費	370,000	コピー代、事務用品、切手代ほか	
雑費	50,000	慶弔費ほか	
予備費	1,082,060		
合計	6,825,000		

情報交換の場として「町内会長会」を毎月開催
毎月第1木曜日に、地域住民の一番身近なコミュニケーションである町内会・自治会の会長が集まる「町内会長会」を開催しています。
地域交流センターから行政情報も得ながら、地域の様々な情報の交換や共有、課題の提議・解決のために、協議・検討を行っています。

令和6年度 町内会・自治会 会長名簿

(令和6年5月8日時点)

町内名	会長名	摘要	町内名	会長名	摘要
吉敷畑	吉村正志		木崎	有澄庄三	
中尾西	重富幸男		木崎団地	斎藤和宏	
中尾東上	山縣和人		上東	児玉頼幸	
中尾東下	小倉和康		上東住宅団地	高鍋淳一	
緑ヶ丘	茨木正明	吉敷自治会副会長	下東	内田秀高	吉敷自治会副会長
赤田	木村克己	吉敷自治会会長	京面団地	秋本泰治	
佐畑	中村秀行	吉敷自治会会計	大橋町	豊田 穰	
中村	未定	町内会総会で選出予定	稲葉	才本康太	

吉敷地域の振興のため
自治会活動の推進
安心・安全な地域づくりを進めるため、各町内会・自治会と連携し、地区防災会活動を展開することとしています。
また、地域を守る市消防団吉敷分団の後援活動や市道除草業務の受託、広報活動、子ども会やスポ少などの活動支援、河川美化などの景観づくりのため、河川一斉清掃にも取り組んでいます。

令和6年度 地域づくり協議会予算

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	予算額	内 訳
交付金	9,614,000	事業費4,143,000 人件費4,730,000 事務費741,000
補助金	30,000	ホタル増殖保護事業
繰入金	4,228,000	自治会 (事業費480,000 人件費1,173,000 事務費363,000) 地区社協 (事業費100,000 人件費1,966,000 事務費104,000) 地域交流センター運営協議会 (事務費42,000)
繰越金	241,039	えがお食堂よしき寄付金
雑収入	50,961	良城(よしき)商工振興会協賛金 (まつり:40,000、環境づくり:10,000) 利息961
合 計	14,164,000	

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	予算額	内 訳
地域振興	450,000	ふれあいネットワーク
	500,000	よしきフォトコンテスト
	280,000	人材発掘に向けた交流事業
	320,000	夏まつり
	470,000	ふるさとまつり
	50,000	コミュニティタクシー運行事業
	485,000	吉敷地区広報委員会へ
	183,000	吉敷地区人権学習推進協議会へ
	70,000	こどもドリームプロジェクト
	80,000	ホタル観賞のタベ
	50,000	動画による活動団体の紹介
地域福祉	250,000	大運動会
	30,000	多世代交流グラウンドゴルフ大会
	242,000	えがお食堂よしき
安心・安全	150,000	吉敷地区防災会へ
	200,000	反射鏡・交通安全施設の充実
	230,000	交通安全・防犯対策協議会へ
	79,000	青少年健全育成協議会へ
環境づくり	200,000	ホタル増殖・放流事業
	270,000	環境づくり推進協議会へ
地域個性創出	456,000	文化振興協議会へ
協議会運営	1,250,000	事務費ほか
	7,869,000	事務局人件費(事務局長1名、事務局員4名)ほか
合 計	14,164,000	

「地域づくり協議会」

地域づくり協議会は、市の地域づくり交付金を主な財源とし、地域課題の解決のため、地域の皆さんや地域づくり関係団体とともに策定した「第2次吉敷まちづくり計画」に基づき、各自治会・町内会を始めとした地域の団体と連携し、様々な活動などに積極的に取り組んでいます。

自家用車に代わる地域の公共交通 「ミタク良城」の周知と利用促進

「ミタク良城」は、高齢化の進展に伴い自家用車に代わる移動手段として令和3年度に導入した吉敷地域の公共交通です。
初年度は、利用者が当初の見込みを大きく下回っていましたが、その後年々増加しており、今後さらに利用促進を図っていくこととしています。

ふれあいネットワーク協議会による 地域の見守りやあいさつ運動の推進

吉敷では、学校や地域関係団体で構成する「ふれあいネットワーク協議会」を設置し、見守りやふれあいあいさつ運動の総合的な推進を図っています。
また、このためのステッカーやピンバッジを作成し、散歩などをしている際に見守りを行う「ながら見守り」に地域ぐるみで取り組んでいくこととしています。

地域の交流やふれあいの場 「えがお食堂よしき」を運営

子どもから高齢者まで、地域で楽しく交流できるふれあいの居場所として、地域食堂「えがお食堂よしき」の運営を行っています。コロナ禍により、しばらく開催を見合わせていましたが、昨年の9月から再開し、地域の交流やふれあいの場を確保することで、心豊かに暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

令和6年度 地区社会福祉協議会予算

(収入の部)

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
住民会費	2,230,000	住民会費500円×4460戸
市・市社協助成金	1,472,500	敬老行事
	1,786,320	地区社協活動費・事務費・補助金ほか
	89,360	福祉員協議会活動費
市社協委託金	177,650	小地区見守り活動
	378,000	ふれあい型給食
	10,000	地域福祉活動計画
共同基金配分金	1,044,296	地域福祉活動費
寄付金	75,000	香典返し、寄付金
繰入金	452,000	事務費(もみじ学級・げんきやかた・ふれあい型給食)
繰越金ほか	3,378,874	前年度繰越金、利息、返戻金
合計	11,094,000	

(支出の部)

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
住民活動費	1,531,400	敬老行事等町内会助成
	185,000	広報委員会へ(地区社協負担分)
	102,000	サロンの運営支援
	202,000	多世代交流や福祉関係団体交流の促進
	538,000	地域福祉活動の促進、小地区見守り活動の推進ほか
厚生保護費	249,360	民生委員児童委員協議会、福祉員協議会助成
	320,000	福祉団体助成
	398,000	ふれあい型給食会活動費・助成
諸費	40,000	挨拶状ほか
負担金	2,342,250	市社協会費、市社協バス負担金
事務費	300,000	会議費、事務用品ほか
雑費	20,000	慶弔費
繰出金	2,170,000	地域づくり協議会へ(事業費、人件費、事務費)
	0	財政調整積立金
予備費	2,695,990	
合計	11,094,000	



サロン交流会の様子



ベタンク交流大会

「地区社会福祉協議会」

地区社協は、吉敷自治会をはじめ、民生委員児童委員協議会や福祉員協議会などの関係団体で構成され、住民会費や共同基金などを主な財源として活動している団体です。

「第2次吉敷まちづくり計画」に基づき、様々な福祉活動を展開し、社会福祉の増進を図っています。

交流でつながりともに支え合う 心豊かに暮らせるまち

今年度もポッチャやベタンクによる交流事業を開催し、町内や世代を超えた交流を促進していきます。

また、地域で活動されている福祉関係団体どうしが連携・協力しながら生活課題を解決することを目指し、より一層地域の「つながり」を深めていきます。

身近な地域での憩いの場で 仲間づくりや生きがいづくり

吉敷地域では、地域の皆さんが身近な場所で仲間づくりや生きがいづくりができるよう、全町内会へのサロンの設置を目指しています。

地域内に設置されているサロンを支援していくとともに、市から指定管理を受け、高齢者生きがいセンターを運営・管理していきます。

みんなで見守り支え合い 安心して暮らせるまちづくり

高齢者等が安心して暮らし続けるために、町内会長、民生委員、福祉員が中心となったグループにより、見守り訪問活動を継続して行っています。ふれあい型給食会では、月1回、見守りが必要な高齢者へ、小学生からの手紙を添えて弁当をお届けし、活動の充実を図っています。

イベント案内

子育て講座

ハンドメイドを楽しもう

ハンドメイドで楽しいひとときを過ごしませんか？

【とき】6月27日(木)10時30分～12時

【場所】地域交流センター 講座室

【対象】小学生以下の子を持つ保護者15名(先着順)

【参加費】500円

【講師】ハンドメイド作家 天's

【託児】有(要申込)

【主催】母子保健推進協議会

【申込・問い合わせ】地域交流センター
☎083-922-3915



アロマストーン



夜光キーホルダー

七夕かざりづくりのご案内

地域交流センターにかざる七夕のかざりを作りますせんか？

【とき】6月29日(土)10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講座室

【対象】小学生20名(先着順)

【参加費】無料

【申込・問い合わせ】地域交流センター
☎083-922-3915



「七夕あそび」

七夕にちなんだ工作やお昼寝アート、絵本などで楽しく過ごしましょう！

【とき】7月5日(金)10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講座室

【対象】未就学児とその保護者15組(先着順)

【参加費】100円

【持参物】汚れてもよい服装、お茶など

【募集期間】6月3日(月)～28日(金)

【主催】母子保健推進協議会、吉敷つどいの広場案案策

【申込・問い合わせ】地域交流センター
☎083-922-3915

「よしき夏まつり」出店者募集

今年の8月13日(火)18時～21時に地域交流センター前広場で開催される夏まつりを出店で盛り上げてくれる団体を募集します。

【募集予定数】8～10店舗※応募多数の場合は実行委員会にて選考します。

【応募条件】①主に吉敷地域で活動する営利を目的としない団体②祭りを楽しく共催できる団体③実行委員会での決定・注意事項を厳守できる団体④会場全般の準備・片付けが実施できる団体⑤消火器等、出店に必要なものを準備できる団体

【応募締切】6月21日(金)

【申込・問い合わせ】よしき夏まつり実行委員会
☎083-922-3344

肺がん(結核)検診

早期のがんは自覚症状がないことが多いため、定期的な検診受診が必要で、40歳以上で、職場等で検診、人間ドック等を受ける機会のない方はぜひ受診しましょう。

【とき】7月2日(火)9時～16時(12時から13時は除く)

※9時～10時は混雑するため、10時以降または午後からの受診がおすすめです。

【場所】吉敷地域交流センター 講座室

【持参物】がん検診受診券(5月下旬発送)

【負担金】300円(令和6年4月1日時点)で40、45、50、55、60歳の方、65歳以上の方は無料)

【予約】不要

喀痰検査

肺がん検診と同時に受診可。

【対象】肺がん検診受診者のうち、50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の方

【負担金】700円(70歳以上の方、後期高齢者医療被保険者証)を提示された65～69歳の方、70歳未満で市民税非課税世帯の方(要事前申請)は500円。

※荒天時は、延期または中止となる場合があります。

【問い合わせ】山口市保健センター
☎083-921-2666

一緒に学びませんか

吉敷地区社協講演会

能登半島地震や豊後水道地震など、大きな地震が相次いで発生している今、災害に対する備えとともに、大切な人の命を守るためには日頃からの近所付き合いや声かけ、見守り活動の重要性を改めて感じます。

そこで今年も気象防災アドバイザーの坂本京子さんに地震や大雨などによる防災のこと、また地域の取り組みに繋がるようなことを教えていただきます。

「大切な人を守るための防災」、「自助・共助・公助」について一緒に学びましょう。

【とき】7月7日(日)10時～12時

【場所】地域交流センター 講座室

【講師】坂本京子氏(一社)レベルフリー代表、気象防災アドバイザー

【演題】大切な人を守るための防災パート2～日頃の近所付き合いから～

【対象】吉敷在住の方

【定員】80名(要申込・先着順)

【申込締切】6月28日(金)

【主催・申込】地区社会福祉協議会
☎083-922-3344

※託児はありません



講師:坂本京子氏

進化していく軽井沢通り

4月28日(日)、良城(よしき)商工振興会では、4年前まで毎年この時期に佐畑(滝河内)地区で開催されていた「よしき軽井沢通り」を、新たな賑わいの創出を目指し、従来とは少し趣向を変えて「よしき軽井沢マルシェ」として第2弾を開催しました。

第2回軽井沢マルシェ開催

昨年に続き、吉敷佐畑にてコロナ禍の制限解除後2回目の開催となる軽井沢マルシェが同地区玄済寺・吉敷病院前広場を中心に開催されました。また、今年から新しい取り組みとして良城小学校裏門から200mほど従来の軽井沢マルシェを出店し、コロナ前のマルシェの雰囲気味わっていただきました。会場とJA駐車場のシャトル便としてトゥクトゥクが終日運行し、乗車に行列ができるほど大人気でした。



トゥクトゥクでの送迎

実行委員会の立ち上げ

今回から良城(よしき)商工振興会の会員以外に地域の方々にも参加していただき実行委員会を創出して運営にあたりました。

持続可能な行事として定着を目指す

「コロナ禍前から開催されてきた「軽井沢通り」は、その通りの自然豊かな昔と変わらない風景と、その風情をこよなく愛する沿道に暮らす方々の絆の構築が大きな目的でした。そのレガシーを引継ぎながら、この行事を通じて参加されるすべての人が「面白かった」「SDGs」に繋がるはず。実行委員会としては毎年の開催にあたり良かった事、課題として改善するところなどしっかりと精査を行い、行事に係るスタッフ一同が達成感を実感できる行事にして行きたいと思えます。



菓子まぎの様子

レポート

良城小でダンスレッスン!

4月30日(火)、レノファ山口FCの公式キャラクター「レノ丸」と公式ダンスパフォーマンスグループ「スパイシーオレンジ」のメンバーであるAkanneさんが良城小学校にやってきました。レノファを応援するため、子どもたちと応援ダンスの振り付けを練習しました!



お花のテラリウム講座

5月9日(木)、テラリウム講座を開催しました。講師の方をお招きし、ドライフラワー等を使用したお花のテラリウムを作りました。それぞれ個性的な作品を作成されました。また講座中には雑談が飛び交い、参加者の皆様のつながりも生まれ、有意義な講座となりました。



グリーンピースの収穫体験

5月14日(火)、環境づくり推進協議会の皆さんの協力により、吉敷幼稚園の園児が、グリーンピースの収穫体験を行いました。参加した園児たちはグリーンピースの収穫を教わりながら、初めて見る、実際に生えているグリーンピースに戸惑いながら収穫をしました。



大運動会は雨天中止

4月21日(日)、吉敷地区大運動会が開催予定でしたが、天候に恵まれず中止となりました。引き続き、スポーツを通して地域の親睦を深めるためにもイベント、行事等を開催する予定ですので、その際にはぜひ皆さんの参加をお待ちしております。

良城橋付近河川公園

一斉清掃は雨天中止

5月12日(日)に予定していた良城橋付近河川公園一斉清掃は雨天のため中止となりました。



冷蔵庫・冷凍庫の防災わざ

急な停電に備える

①停電時の保冷可能時間

- ・冷蔵庫2〜3時間
- ・冷凍庫18〜36時間

保冷期間を少しでも長く保つためにドアの開閉時間を減らす。

②停電時の調理

ガスや水が使える場合は、傷みやすい生鮮食品はすぐに調理しておくが良い。

オール電化の場合は、卓上コンロを用意しておくとし便利。

平素から備える

①冷蔵庫は食べ物を詰め込まない。食品を詰め込みすぎると冷気が上手く循環できなくなり庫内が冷えにくくなるので7割程度を目安に。

最上段は冷凍庫から保冷剤や冷凍食品を移せるようスペースを空けておく。

②冷凍庫は冷凍食品を隙間なくきっちり詰めておく。たくさん物を冷凍しておくとき他の食材が保冷剤の役目をしてくれるので、庫内の温度上昇を防ぐことができる。

③日頃から意識する

・ご飯は小分けにし、ラップ又はフリーザーバックに入れ平らにして冷凍保存する。

・唐揚げ、きんぴら、インゲンのごま和え等、自然解凍で食べられる食材を冷凍しておくとき食事の幅が広がります。

・ペットボトルや密閉袋に水道水を入れて凍らせておく。解けたら水として使えるので無駄にならない。

④食品のストック

食品には常温保存可能で災害時に活躍するものも多いのでストックしておき、日常的に消費し入れ替えて備蓄する。



吉敷地区防災会
連絡：吉敷地区地域づくり協議会
083-922-3334

リレーエッセイ

Relay Essay

048

伊藤 信巳さん (上東)



今回のリレーエッセイは広報委員の植野がインタビュー形式で取材をしてきました。

地元の商売人の集まり「良城(よしき)商工振興会」の歴史と伝統について、現役会員の中で最もそれらの実情に詳しい相談役の伊藤電化センター(上東)の伊藤信巳さんにお話を伺いました。

*まず歴代会長の歴史について伺いました。

初代会長は、久保商会(文具等販売)の久保さんが就任され、平成の中期にIK建設(中村)の河津さんが会長を務められた時代に伊藤さんは副会長としてともに尽力されました。その後、平成後期・令和の現在に至るまで3人(小野・植野・現会長配川)が会長職を受け継いできました。

*商工振興会の改革について

昭和の頃は今のような所属会員が100事業所近

くある大きな団体では無かったのですが、河津会長・伊藤副会長体制の時に「総会など会合の在り方」や「他地区の団体とのお付き合い」など工夫を加え改革する事で、会員同士の親睦もより深まり一致団結した団体になったことを、たばこの煙をくゆらしながら、誇らしく語られました。

*今後の会の展望について

物価高騰・人手不足などにより商売の行く末は未だ不透明な部分がありますが、伊藤さんはいかなる試練があろうと、【商売人は絶えずアイデアを生み出し、そのアイデアでピンチをチャンスに変えるたくましい商魂こそが本当の商売人である】と持論をもっておられます。そんな商売人が集まる団体での会合では、時に意見の食い違いなどから騒動になることもありますが、副会長を退かれた後も会の相談役として、それらに冷静に対処され取りまとめてこられた存在は、今の会には役員として若い世代の方が多くいますが頼れる存在です。そんな会を遠巻きに関わりつつ見守るまなざしに、会の発展への強い想いを感じた取材でした。



1土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00
2日	●レノファ山口 VS 清水エスパルス 14:00～(みらスタ)
3月	●あいさつの日
4火	●広報委員会 17:00～
5水	
6木	●町内会長会 18:30～
7金	
8土	●レノファ山口 VS ジェフユナイテッド千葉 19:00～(みらスタ)
9日	●吉敷ポッチャ大会
10月	
11火	
12水	
13木	
14金	
15土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00 ●えがお食堂よしき 11:00～13:00
16日	
17月	

18火	
19水	
20木	●ふれあい型給食会
21金	
22土	●レノファ山口 VS いわきFC 19:00～(みらスタ)
23日	●観戦ソフトバレーボール大会
24月	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00
25火	
26水	●地域内福祉・子育て活動団体間交流会 10:30～13:30
27木	●子育て講座「ハンドメイドを楽しもう」 10:30～12:00 P.5
28金	
29土	●七夕かざりづくり 10:00～11:30 P.5
30日	

7月のおもなイベント

1月	あいさつの日
2火	がん(結核)検診・喀痰検査 9:00～16:00(12:00～13:00は除く) P.5
5金	七夕あそび 10:00～11:30 P.5
7日	吉敷地区社協講演会 10:00～12:00 P.6

自転車と自分
20代半ば頃まではロードバイクには関心がなかったのですが、昭和の後半、トライアスロンがブームになったことで、自分にも適するスポーツだと思いチャレンジをしました。ランニングが苦手な泳がずには泳ぎますが、平泳ぎしかできません。そこでロードバイクが一番相性のいいスポーツアイテムとして残り、それから長きにわたり55歳(10年前)で転倒して骨折するまで、概ね30年近く(ツールド...)という近場のサイクリングイベントへよく参加してました。特に思い出があるのが、昭和57年から始まり昨年末を閉じた、大分県国東半島を一周するイベント(ツールド国東)です。40歳から50歳になるまで10年間連続出場して160km(センチリラン)を完走しました。開催時期も5月の連休の頃で、新緑まばゆい国東半島の風と共に走り抜けた、いい思い出は一生の宝物です。怪我以降イベントへの参加は無くなりませんが、今でも近くの林道や坂道をタイヤの太いMTBやママチャリで、ヘルメットをかぶり安全第一で楽しんでいます。

広報委員 植野伸一



[発行・編集]
吉敷地区広報委員会 (〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト
フェイスブック・インスタグラム
<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

